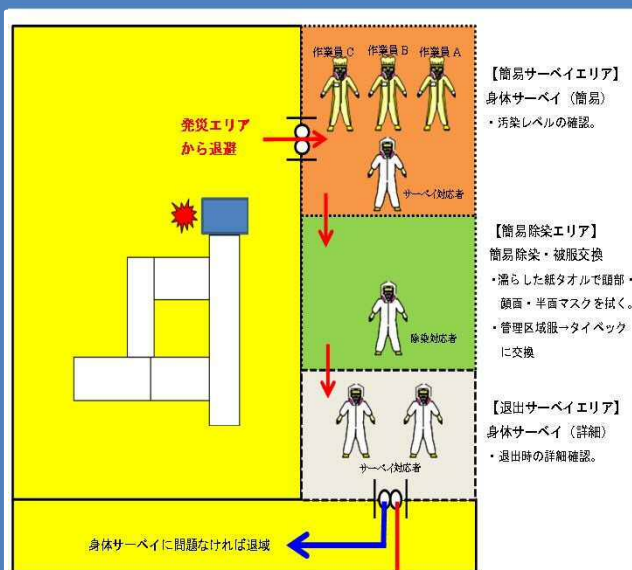


- ・夜間または休祭日に大規模な汚染事象が発生したことを想定し、当直員を対象に発災エリアからの速やかな退避、作業員の身体汚染検査等について、円滑に対応できるよう訓練を実施。
- ・想定事象：ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋にて、グローブボックスから放射性物質を含む廃棄物のバックアウト作業（ビニール梱包しグローブボックスから搬出する作業）の際に、梱包が破れ廃棄物が作業エリアに散乱し、作業員の身体に汚染が付着したことを想定。
- ・訓練日：1/26、1/30、2/1、2/13、2/27の計5回実施（当直員を対象に1班あたり約12名（日本原燃社員）、訓練時間約2時間で実施）

ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋

発災エリアからの退避・作業員の身体汚染検査等対応



【凡例】

- : 発生箇所
- : グローブボックス
- : 作業エリア
- : 簡易サーベイエリア
- : 簡易除染エリア
- : 退出サーベイエリア

汚染拡大防止措置（汚染部位の固定等）を施して除染室へ移動

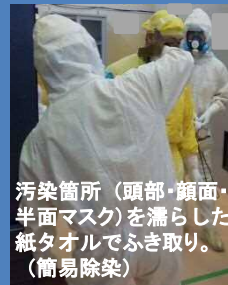
- 移動後、以下を実施する。
- ・半面マスク交換
 - ・鼻スミヤ採取
 - ・皮膚除染+鼻腔除染
 - ・身体サーベイ（皮膚）
- 内部被ばくさせないよう対応すること

作業員の身体汚染検査



作業員を発災エリアから退避させ、汚染レベルを確認。

汚染箇所の簡易除染・被服の交換



汚染箇所（頭部・顔面・半面マスク）を濡らした紙タオルでふき取り。（簡易除染）



作業員の被服を交換。（管理区域服→タイベックに交換）

退出時の身体汚染検査



退出サーベイエリアで身体汚染検査を実施。（詳細サーベイ）

除染室での除染等対応（鼻スミヤ採取・鼻腔除染対応）

鼻スミヤ採取



（鼻スミヤ採取方法の説明）

マスクに汚染があった作業員に対し鼻スミヤを採取。

鼻腔除染



（鼻腔除染方法の説明）

採取した鼻スミヤに有意な値が検出された作業員に対し、鼻腔除染を実施。